

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

December 2017

Écoutez Bien Vol.35 No.397

12

立川から見えるダイヤモンド富士（柴崎町）

砂川の大幟 [1]

案内人：豊泉喜一氏

幕末期、砂川では大きな祭礼幟が作られ、現在、五番組、八番組、九番組、十番組の4基が確認されている。その内五番組の大幟は毎年秋になると、国営昭和記念公園こもれびの里古民家の前に揚げられる。茅葺の長屋門を背景にコスモスが咲き乱れる。その風景の中に秋天にはためく大幟は、こもれびの里の風物詩である。

この大幟は万延元年（1860）に砂川五番組が作ったものだが、長年揚げたことが無いまま保存されていた。縁あってこもれびの里で預かり毎年揚げられるようになった。そもそも大幟を揚げるためには18m以上の幟竿、その竿を支える挟み木を立て、幟を揚げるための広場、それを揚げる多数の人手が必要であり、更に彫刻、挟み木、長い幟竿を保管する竿小屋も必要になり、これらを保管するのは容易なことではない。この幟も、幟竿はなかったが、幟、彫刻、挟み木等の部材はほぼ完全な形で保管されていたので、新たに幟竿を作っただけで比較的容易に復元できた。幟は通常、氏神、鎮守の祭礼に揚げられるもので、多くは「御祭禮」か「〇〇神社」の文字が描かれているものが多い中で、この幟の特徴は次のような格調の高い漢詩が書かれていることである。

壹和平之神聴村村鼓笛 万延紀元夏五 砂川村第五番組
(読み)もっぱら和平の神村の鼓笛を聞く

宣康樂子志民戸戸歌謡 耐軒乙事寛撰 花顔川上由書
(読み)あまねく民は家家で喜びの歌を唄う

幟には上記二行の詩が見事な筆跡で書かれている。この幟に書かれている文字が読め、その意味が分かる人は今日でも少ないのに、江戸時代末期、片田舎の農村であった砂川村五番組の人たちが、どうしてこのような詩を撰んだのか。また当時の農民がこの字を読め、詩の内容を理解してこの幟を作ったのだろうか。

この詩を撰んだのは江戸幕府の役人で、^{おつこつたいけん}乙事耐軒（乙骨寛）という江戸時代の大学ともいわれた昌平坂学問所（昌平黉）^{しょうへいこう}の教授をしていた人で、唐風破風屋根の下に、中国の古代仙人伝説「黄張房仙人」と「琴を弾く王夫人」と一對の飾り彫刻があり、その下に「昇り龍・降り龍」を配した繊細な彫刻がある。この彫刻には東府住後藤佐一と刻まれているが、江戸時代末期著名な彫刻師を多く輩出した「後藤派」の彫り師である。この彫刻は製作されてから150年余り経過しており、立てる都度、組み立てて着脱するとき部材が欠けるおそれもあることから、現在では古民家長屋門の中に、幟旗とは別に常設展示されているので、いつでも見ることができる。



よろしくお願ひします、 立川！

アルバルク東京です

立川に腰を据えて、
地域貢献しながらバスケットボールを根付かせたい

——立川はミニバスや、最近3×3が盛んになりましたが、元々はあまり馴染みがない気がします。でも競技人口って多いそうですね。

林 競技人口は63万人と言われています。サッカーは92～3万人。ここに30万という開きがありますが、Jリーグが始まった頃とは思うと、今のバスケの方が多いのではないかと思います。サッカーはJリーグを機に子どもたちがやるようになり、プロを目指したり、大学やその先、引退してからもどこかでサッカーをやるというシニアも増えて裾野が広がっています。バスケも高校まではすごく多い。でも大学から急激に競技人口が落ちて、社会人ではほとんどやっていないですね。でも、この競技やっている人って、観戦しないんですよ（笑）。——そうなんですか？

林 自分でやる方が楽しい（笑）。僕もサッカーやっていて、Jリーグを観たことはほとんどなかったです。今はシニアプレイしていて、戦術とか世界のトレンドといった観点で観るようにはしています。だんだん歳とってくると体が動かなくなるんです。口は動くんですけど。だから、こういう戦術でこうすべき、ああすべきって、僕ら体で表現できないけれど、口では言う。やたら体が動く若い時って、ある意味戦術なんかどうでもいいんです。自分の力で切り開いていく時ですから。

——観客としてはバリバリ現役よりも…。

林 現役から一歩退くと観るようになる可能性はありますよね。いわゆる63万人の競技人口のほとんどは自分がバスケットをやるのが一番でしょう。しかも自分たちが競技をしている時間帯とプロの試合の時間がかぶる。これをどうするかは考えなきゃいけないとは思っています。いずれにしても、この競技者人口というのは、僕らのビジネスの重要なファクターではないと思っています。

——では、どういう方が観客になるのでしょうか。
林 Jリーグなどでも観衆の70％くらいが未経験者です。ライブや演劇を観に行くのと同じなんです。ただ動きが激しくて勝負が決まるといっただけで、観に来る人たちの感覚はライブと同じだと思います。

——確かに、これはショーだなと思いました。ところで、サッカー人生だった林さんが社長になられた経緯を教えてください。

林 今でも僕は三井物産の社員ですが、その中でスポーツビジネスに携わりました。広島マツダスタジアムにあるフードビジネスは100％三井物産の関係会社で運営しています。いろいろな業態のものがあありますが、いずれも1社が業態を変えてやっています。それと、スタジアムの看板とかゲームスポンサーを募って、球団とスポンサーとをつないでいくスポンサーシップマネジメントという事業の2つを柱に、広島東洋カープさんと仕事をさせてもらっている関係会社の役員でした。広島東洋カープさんとの関係から中日ドラゴンズさんとのご縁もできたことで、三井物産^{たまたま}としてスポーツビジネスに関わっていることが偶々トヨタさんの耳に入り、バスケットのBリーグ参入に当たって運営会社を立ち上げなきゃならないことから、パートナーシップを組んでいただけないかというお話を頂戴したんですね。こちらとしては、株式を持って仕事をやる方が断然主体者意識も高まりますね。パートナーとして出資させていただいて仕事させてくださいと、そう話したんです。ではそうしましょうという話になって、数か月後、せっかくだから社長をやっていただけませんか。——それでお受けになった。

林 いえ、私はサッカーしかやってこなかったもので、バスケットは縁遠いスポーツでした。それこそ観たことがなかった。またプロスポーツビジネスの経営は門外漢です。ビジネスとして

やっていくのはいいのですが、経営だけではないですね。そこには選手もいて、バスケットという世界観がある。そういう中では難しいなと思ってお断りしたんです。

——トヨタってバスケットの歴史が長いそうですね。

林 伝統があるんです。今年が創部70年目。日立、トヨタ、東芝という順の伝統部。バスケットに精通していない人間が入り込むのは、申し訳ないと思ったんです。でも、新しいBリーグができる時、バスケットを知っているということは条件ではありませんと言われました。それであれば、まだ52歳ですので、そういう意味ではまだ働ける。本当にプロスポーツの経営をやりたい人が多くいる中で、私にお話をいただいたということは光栄だと思って、どうなるかわからないけれど、お引き受けしました。ですから、今でも悪戦苦闘しています。

——立川はどうお感じになりましたか。

林 私の年代ですとどうしても八王子の方が大きいイメージだったんです。今回の件で最初に立川にうかがった時には、あまりの大きさにびっくりしました。特に北側の発展ぶりにはびっくりしましたね。完全に八王子から立川にシフトしてきていると実感しました。立川から都心に向かっていくのと、都心から立川に向かってくるのとは当然距離は同じなのですが、都心から来る人の精神的距離は長い。都心から来る人たちの耐えられる精神的距離は国分寺までなのか、武蔵小金井までなのか、ひょっとすると吉祥寺を過ぎるとだいたい同じ感覚になってしまうのか正確なことはわかりませんが、どの様にしてその精神的障壁を取り除くかが課題だと思います。電車に乗っちゃうと本当に近いのですが。

——中央線に何事もなければ、の話ですね。今日も通勤時間帯の遅れと急病人で、ここ（水

林 邦彦 氏

トヨタアルバルク東京株式会社 代表取締役社長。東京都町田市出身。同志社大学から三井物産入社。体育の先生になるのが夢だった。小学生の時からサッカーを始め、大学では体育会のサッカー部、就職してからも現在関東リーグの1部に所属しているエリースフットボールクラブ東京に29歳まで在籍。現在もエリースフットボールクラブのシニアチームに在籍している。本年10月53歳になった。

道橋)まで来るのに2時間近くかかってしまいました。

林 営業距離が長ければ長いほど遅れてしまうんですね。アリーナ立川立飛でもアンケートをとらせていただいたのですが、100分かけて来てくださるお客様も多い。そうであれば、やっぱりそれだけの価値を提供しないと。1日の中で往復200分使うんですよ。行って、どつと疲れて帰るというのではあまりにも申し訳ない。ゲームの余韻で帰りの100分を過ごせるようにしていかないといけないですね。——何度も訊かれているとは思いますが、そもそもアルバルクが立川に来た経緯は。

林 昔の伝手で立飛さんからアルバルク東京のマネージャーに連絡があり、立飛HDさんが新たなアリーナを建てるとのお話をいただき、私が直接お会いすることになりました。立飛さんは三井物産との取引も過去からあり、これもひとつのご縁だなと思いました。竣工の時期もシーズン開幕にあっていたことから、10月14日をアリーナ立川立飛のこけら落としとして、同時にBリーグ公式戦としてアルバルク東京のホームゲームを採用していただいたものです。オープンにおいて立飛HDさんにはかなりご協力いただきました。

——そうでしたか。アルバルク東京さんはこけら落としを前に、立川市ともダイスさんとも協定を結ばれました。

林 立川市が公認してくれるということはとてもありがたいことです。バスケットは5×5と3×3の2つがあります。ダイスさんが代表する3

×3は、東京2020大会から正式種目になり、5×5と3×3、いずれも東京2020大会で開催される種目です。立川の街なかでポスターを貼らせていただきに行き「バスケットの」と言うと、「あ、ダイスさんね」「3人でやるやつでしょ」と言われます。そのくらい街に浸透している。同じバスケットの中であってもダイスさんとは競技として食い合わないの、相乗効果で盛り上げていきたいと思っています。10月15日もダイスさんの協力を得て、アリーナ立川立飛でBリーグの公式戦をやりました。

——バスケットをよく知らないので失礼かもしれませんが、このシーズンも連勝中のアルバルク東京さんは強いチームなんですね。

林 はい（笑）。世間では強いという位置づけとしていただいていますし、もちろん優勝が目標で、そのためにどうしたらいいかという対策は、かなり真剣にやっています。1つのチームに選手は13人しか登録できません。ベンチには12人で、コートに出るのはそのうち5人です。外国人は3人しか登録できません。アルバルク東京は12人いたんですが、シーズン直前に北海道に選手をレンタルでお貸して、今は11人です。7人の日本人と1人の日本人扱いの選手がいます。日本人扱いの選手はザック バランスキーと言ひ国籍はアメリカ国籍です。Bリーグでは義務教育を日本で受けた選手は日本人扱いとなっています。ちなみに、ザック バランスキーは大学も東海大学を卒業しているので、顔はアメリカ人ですが、日本語は日本人よりも上手かもしれません（笑）。7人の日本人のうち安藤誓哉、馬場雄大、竹内譲次、田中大貴の4人が現在の日本代表候補です。小島元基、正中岳城、菊池祥平の3人も日本代表ないしは日本代表候補経験者です。

——強いってことですね（笑）。よくわかりました。選手もですが、あのキャラクターのルーク！



ものすごく素晴らしい着ぐるみですね。

林 かれは、着ぐるみではありません（笑）。中に誰も入っていませんから。

——（笑）素晴らしいですよ。たっぴくん、たっぴちゃんや、くるりんと共演の時、動きがまるで違う。アシストなしでスタスタ歩かし、独立してなんでもやっちゃう。椅子に座るし、階段降りるし。

林 Twitterでルークが立川北駅からアリーナ立川立飛までを案内している動画をアップしたのですが、評判いいです。おっしゃる通りひとりで多摩モノレールに乗りますし、エレベーターも乗りましたね。

——本当に素晴らしい着ぐるみですが、中は暑くないんですかね。

林 入ってないですから。

——そうでしたね！

林 今後のことははっきり言えないのですが、でも、当面は立川に腰を据えて選手もルークも地域貢献しながらやっていきたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

※えてびあんのブログ「立川は Ecoutez bien えてびあん」に、アルバルクのページを作りました。えてびあんで撮影した写真と共に、試合結果など更新しています。併せご覧ください。

初期消火が みんなを守る！

平成29年度 自衛消防審査会

夏日になった10月12日(木)。
多摩広域防災倉庫で本年度の自衛消防審査会が行われた。
出場選手だけでなく、応援団も熱くなった1日だった。

安心安全な街づくりには欠かせない事業所の自衛消防隊。業務の合間に練習を重ね、審査会に臨む。慣れない大きな声、号令、規律、重いものを持つ、走る…。非日常の訓練が、いざという時に役立ってくる。

昨年の審査会には25チームが参加したが、今年は23チーム。事業所には事業所の事情があって参加したくてもできないのかもしれない。が、それならばなおのこと、こうしてなんとかして参加し続ける事業所の防災意識の高さを、一般市民もよく知る必要があると強く感じた。



※審査会当日の様子、それまでの練習風景、各事業所の応援メッセージは、えくてびあんのブログ「立川は Ecoutezbien えくてびあん」に掲載してあります。

今年度の参加事業所

〔男子隊・混成隊〕

優勝 一如社
準優勝 陸上自衛隊東駐屯地
3位 ららぽーと立川立飛

〔女子隊〕

優勝 立川市役所
準優勝 真如苑
3位 国立市役所

以下出場順 男子隊混成隊
立川グランドホテル、立川市役所、真如苑、立飛ホールディングス、災害医療センター、ららぽーと立川立飛、JR 立川駅、特養老人ホーム 砂川園、エキュート立川、ルミネ立川店、JR 立川運転区、東京ガス立川ビル、グランデュオ立川、陸上自衛隊東駐屯地、ビックカメラ立川店、一如社

以下出場順 女子隊
立川市役所、一如社、真如苑、JR 立川駅、伊勢丹立川店、陸上自衛隊東駐屯地、国立市役所



グランドホテル



立川市役所男子



真如苑男子



立飛ホールディングス



災害医療センター



ららぽーと立川立飛



立川駅男子



砂川園



エキュート立川



ルミネ立川



立川運転区



東京ガス



グランデュオ立川



自衛隊男子



ビックカメラ



一如社男子



立川市役所女子



一如社女子



真如苑女子



立川駅女子



伊勢丹立川店



自衛隊女子



国立市役所

えくてびあんの輪			
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 栄町・高松町・曙町 のお店です。			
栄町	FUKUSHIMAYA 立川店	534-1700	
	相模屋酒店	536-2476	
	メンズカット ヤザワ	536-8738	
	大型コインランドリー マンマチャオ栄町店		
高松町	ルーデンス食堂		
	丸助青果店	522-3542	
	米穀・食料品 横町屋	522-2609	
	中華料理店 太幸苑	527-0906	
	セイロン風カリー シギリア	507-2418	
	ふじ整体院	540-9155	
	ライブハウス Crazy JAM	529-9507	
	立川湯屋敷 梅の湯	522-3800	
	ヘアーサロン イトウ	522-6281	
	立川伊勢屋 本店	522-3793	
	書籍・雑誌 フレンド書房	527-1555	
	大野サイクル	523-2061	
	パンのお店 Dragee ドラジェ	525-2730	
	立川キリスト教教会	526-6826	
	サロン・ケベクア美容室	527-4716	
	HAIR MAKES たしろ	525-2175	
曙町	うなぎ しら澤	524-5061	
	中華料理 福心樓	524-2343	
	久住ハウジング (株)	527-8007	
	不動産 大晋商事	525-3110	
	ヤマミュージックアベニュー立川	523-1431	
	蕎麦懷石 無庵	524-0512	
	TABACCONIST ゼフィルス	524-0514	
	フティック ASHUTE VENI-VENI	521-1481	
	ピストロ シェ・タスケ	527-5959	
	あら井館総本店	522-2957	
	大衆劇場 立川けやき座	512-5057	
	立川伊勢屋 ルミネ店	524-3395	
	たましん すまいるプラザ立川	0120-667-646	
	オリオン書房 ルミネ立川店	527-2311	
	みずほ銀行 立川支店	524-3121	
	コスモール 辰己屋	524-6051	
	エミリーフローグ 本店	527-1138	
	キャフェ クリムト	526-3030	
	黒毛和牛専門店 焼肉 FUKI	523-0166	
	宮地楽器 MUSIC JOY 立川北	527-6888	
	TAKE THE HONEY スイーツ	523-8200	
	三井住友銀行 立川支店	522-2151	
	レストラン サヴィニ	525-1662	
	立川献血ルーム	527-1140	
	アートルーム 新紀元	528-6952	
	MOTHERS ORIENTAL	528-0855	
	たましん 本店	526-7700	
	和食どころ 若草茶屋	526-0010	
	三上饅頭店	522-3259	
	エフエムたちかわ	524-0844	
	ラ・フランス	529-5522	
	ビックカメラ 立川店	548-1111	
	Charcoal Dining るもん	527-3022	
	酒亭 玉河	522-2654	
	三菱東京 UFJ 銀行 立川支店	524-4121	
	玉屋 KITCHEN	595-7847	
	立川グランドホテル	525-1405	
	カフェ アバン	527-4479	
	手打ちそば しえ もと	529-5468	
	シンボパン	522-6211	
	天ぶら わかやま	525-0222	

jorakugajo	
真如苑提供番組「常楽我浄」	
スカパー！：529ch	
スカパー！で放送の常楽我浄は スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。	
J:COM 多摩：111ch	
放送時間については番組表をご確認ください。	
www.shinnyo-en.or.jp	

街の話題

アリーナ立川立飛こけら落とし★

10月14日、アリーナ立川立飛が正式にオープンしました。『お世話になります立川!!』の言葉とともにやってきたBリーグトヨタアルバルク東京。横浜ビー・コルセアーズとの対戦がこけら落とし。30のホーム試合のうち26試合を、アリーナ立川立飛で行います。飲食自由、観覧しやすいアリーナ立川立飛は、選手の動きがととてもよく観えると評判です。

研究者に会いに行こう！

今年はいつもとよりちょっと早く、10月8日（日）に大学共同利用機関博覧会『研究者に会いに行こう!』が、秋葉原のアキバ・スクエアで行われました。立川からは国語研、国文研、統数研、極地研が参加。研究者トークを行ったり、各ブースで来場者1人ひとりに研究所の概要や研究の内容などを説明していました。大学共同利用機関に属す研究所のうち4つが同じ地域にあるのは立川市だけ！これだけでも立川市の誇るべき特徴ですね。

とくし丸出発式★

10月26日（木）、いなげや小平小川橋店から、移動スーパー「とくし丸1号」が拍手の中を出発しました。東京にいながら買い物弱者になる時代。買い物弱者対応だけでなく、防災・防災、見守り支援にもつながる移動スーパー。期待大です。120品目4000点、できたて・揚げたてのお惣菜も積み込んで、自宅の前まで来てくれる！中央線沿線地域から少しずつ増やしていくそうです。立川でもいづれ走りますよ〜。

新日本古典籍 オープン！★

唯一の日本古典籍ポータルサイトである「新日本古典籍総合データベース」が正式公開されました。国文研が長年蓄積した豊富な書誌と、国内外のさまざまな機関が所蔵する古典籍のデジタル画像を収録し、研究・教育の利用に限らず、広くメディアや産業界、一般の方が活用できるようになったということです。聞くと難しいけれど、一度のぞいてみてください。かわいい絵やおもしろい妖怪もいっぱいいますよ！国文研のHPから入れます。

砂川散歩★

国文学研究資料館のロバート キャンベル館長が精力的に活動されています。10月17日（火）には、立川のことを知りたいと砂川方面を探訪。西砂町のパン屋かじゅう屋から甚五郎砂川庵、村野達磨産業、阿豆佐味天神社、幸町の古民家園、ゼーホフと短時間でしたが街のみなさんと触れ合っていました。村野さんでは色紙に「面壁二百年」と書かれたので、「？」という顔をすると「達磨大師は面壁九年でしょう」と言われました。さすがです。



消防総監が視察されました★



アリーナ立川立飛でアルバルク東京のオープニングゲームが行われた翌10月16日（月）、村上研一消防総監が立川にいらっしやいました。日本で初めて民間救急サービスを始め、現在東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会会長である辻正司氏（セレモアホールディングス社長）と共に、アリーナ立川立飛を訪問、ゆっくり隅々までご覧になりました。本年8月1日、第26代消防総監に就任された村上氏は建物の構造などにとっても詳しいそうで、和やかな中にも時折専門的な問いかけなどされながらアリーナ立川立飛を一廻り。東京消防庁のトップもいらっしやる、立川ってやっぱり注目の地なんですね。

日本古典文学学術賞 授賞式★

国文学研究資料館では、日本文学研究の推進、若手研究者への奨励、国際交流及び社会連携活動等の諸活動に幅広く支援を得るため賛助会を設置しています。この賛助会では、財団法人日本古典文学会が行っていた「日本古典文学会賞」の事業を継承し、若手の研究奨励と人材育成を目的とした「日本古典文学学術賞」を新たに制定、今年第10回になる日本古典文学学術賞授賞式を行いました。対象は平成28年1月から同12月までの著書、論文などの業績です。過去にもとてもユニークな研究が発表されてきましたが、本年は、高野奈末氏（静岡大学教育学部准教授）の『賀茂真淵の研究』と、渡瀬淳子氏（北九州市立大学文学部准教授）の『室町の知的基盤と言説形成―仮名本『曾我物語』とその周辺―』が選ばれました。写真は10月20日（金）パレスホテルでの授賞式の様子です。



中央右が渡瀬氏 左は高野氏

第94回箱根駅伝予選会



こんな写真を撮ってみました。自衛隊西側上空に飛行船が飛んでいて、テレビには映らない現場の味です。

いい湯だな♪ ～別府温泉～★

11月1日（水）、柴崎福祉会館に別府八湯から鉄輪温泉のお湯がやってきました。熊本地震の被災・復興支援の返礼に、別府と言えばやっぱり温泉!と、長野恭紘別府市長がお湯をたっぷり届けてくださいました。清水庄平立川市長も「無味無臭のいいお湯だ!」と絶賛。源泉は70℃なのですが、ほとんど温度は下がらないまま。加水してみんなで楽しみました！



入湯する長野別府市長

表紙の人

柴崎町から見たダイヤモンド富士

昨年12月号の表紙もダイヤモンド富士でした。でも写した場所が違います。同じ柴崎町でも、少し南だったり、少し東だったりで見え方が変わってきます。今回はうっすら逆行に浮かぶ建物を絡ませてみました。今年1月に撮影した富士山です。立川から見えるダイヤモンド富士は、富士山の頂上の幅と太陽の直径がちょうどびったりに見えるから不思議です。来年の12月号のために、えくてびあんは今年もダイヤモンド富士を追いかけます。

かたこと

◆学術プラザ4研究所のうち、極地研究所と国語研究所の所長が交代されました。新しく10月1日から、極地研究所には中村卓司所長が、国語研究所には田窪行則所長が着任されています。どうぞよろしく願い申し上げます◆立川市と連携協力協定を締結している統計数理研究所の樋口知之所長が、東京立川ロータリークラブで講演されました。題して「生き残るのは誰だ!？」ちょっとドキドキするタイトルですが、18世紀後半に興った産業革命以来の激変時代を迎えているそうです。これからの10年の荒波を超えて生き残るのは…というお話。大事なことなのでえくてびあんのブログに掲載させていただきました。ぜひご一読ください◆ネット社会と言われる一方で、真逆にも見える方向に進むいなげやの「とくし丸」。買い物弱者救済だけでなく、老々介護や孤立家庭の見守りや防災、防犯にも役立ちそうです。結局は人と人が作りだす社会なんだと改めて思いました◆別府市長の長野恭紘さんは、あの「湯～園地」を実現させた方です。別府の方にうかがうと、ものすごくバイタリティがあってどんどん前に進めていく市長なのとか。えくてびあんには「別府に来てください。来ないと食べられないものがありますよ!」とおっしゃっていました。さて、何でしょう?◆毎日目まぐるしく動く立川の街。全部を紙面に載せることはできないので、ブログに細かくアップしてあります。自衛消防審査会の様子は練習風景から応援メッセージ、審査会の当日の様子まで。ロバート キャンベル先生と歩いた砂川散歩の様子、アルバルク東京の試合など、どうぞブログでゆっくりご覧ください◆さて、寒くなります。皆様、お体を大切に、よい年越しを！

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑧

12月号 第35巻 通巻397号

平成29年12月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://ecoutez.exblog.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



立川 LOVE

立川野菜とお店のコラボ

5



産直野菜でお料理の腕をふるってくださるのは、ビストロ & バル ラポールの武井シェフと田中スーシェフ。「素材の良さ8割、腕は2割」だそうです、良い素材の味を活かして提供するの意外にむずかしい。しかも秋から冬の産直野菜と言えば根菜類。さて、登場した2品。「立川産野菜の新鮮サラダ 小山農園に愛を込めて」と「甘鯛のうろこ焼き 小山農園風」。産直野菜への愛が詰まったお料理でした。

ビストロ & バル

ラポール (Rapport)

立川市柴崎町 3-3-2

立川ステーションフロントビル7階

TEL 042-520-3088

11月7日からランチも再開しています。